

2021年6月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



2021年8月13日

上場会社名 株式会社ウイルプラスホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3538 URL https://www.willplus.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 成瀬 隆章
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 柴田 学爾 (TEL) 03-5730-0589
 定時株主総会開催予定日 2021年9月28日 配当支払開始予定日 2021年9月29日
 有価証券報告書提出予定日 2021年9月29日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期の連結業績 (2020年7月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期	40,776	16.3	2,290	97.3	2,301	92.3	1,533	91.1
2020年6月期	35,068	17.4	1,160	3.8	1,196	7.3	802	9.9

(注) 包括利益 2021年6月期 1,533百万円(91.1%) 2020年6月期 802百万円(9.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年6月期	161.47	158.32	22.5	13.7	5.6
2020年6月期	85.32	83.19	13.9	7.6	3.3

(注) 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎となる普通株式については、「株式給付信託(BBT)」の信託財産として株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が所有している当社株式を控除対象の自己株式に含めて算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年6月期	16,972	7,530	44.4	791.47
2020年6月期	16,645	6,123	36.8	645.24

(参考) 自己資本 2021年6月期 7,530百万円 2020年6月期 6,123百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年6月期	2,890	△676	△1,359	3,376
2020年6月期	1,717	△1,201	594	2,522

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年6月期	—	5.00	—	9.00	14.00	133	16.4	2.3
2021年6月期	—	5.00	—	23.26	28.26	270	17.5	3.9
2022年6月期(予想)	—	5.00	—	24.13	29.13		20.0	

3. 2022年6月期の連結業績予想 (2021年7月1日~2022年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	41,067	—	2,149	△6.1	2,132	△7.4	1,386	△9.6	145.66

2022年6月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、売上高の対前期増減率は記載していません。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年6月期	9,900,320株	2020年6月期	9,874,560株
② 期末自己株式数	2021年6月期	385,126株	2020年6月期	385,052株
③ 期中平均株式数	2021年6月期	9,496,046株	2020年6月期	9,402,570株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年6月期の個別業績（2020年7月1日～2021年6月30日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期	914	8.3	331	13.2	340	7.2	235	9.8
2020年6月期	844	15.6	292	46.2	317	44.1	214	43.6
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年6月期	24.77		24.28					
2020年6月期	22.78		22.21					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年6月期	5,988	1,596	26.7	167.80
2020年6月期	6,970	1,486	21.3	156.69

(参考) 自己資本 2021年6月期 1,596百万円 2020年6月期 1,486百万円

2. 2022年6月期の個別業績予想（2021年7月1日～2022年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	996	9.0	385	13.0	267	13.7	28.09

業績予想に関する注記

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により経済活動の停滞が長期化し、極めて厳しい状況が続きました。ワクチン接種の普及により収束が期待されたものの、変異株による感染の再拡大や、半導体不足による自動車関連産業への影響が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております

当社グループにおきましては、店舗における感染防止対策を徹底するとともに、営業時間の短縮やWeb会議等の活用、在宅勤務の拡充などのコロナ禍に適応した業務運営を継続しながら、事業活動を行ってまいりました。

2020年12月に、「ジャガー・ランドローバー・アブルーブド湘南」「ジャガー・ランドローバー湘南サービス」を新築移転、2021年2月にMINI正規ディーラーとして福岡東地区の初出店となる「MINI NEXT福岡東」を、また、神奈川県に広域からアクセスが可能な好立地に「ジャガー・ランドローバー相模原」をそれぞれ新規オープンいたしました。更に同年2月「フィアット/アバルト平塚」を移転改装オープンし、3月には「ジープ藤沢湘南」、「アルファロメオ藤沢湘南」をリニューアルオープン、5月に「フィアット/アバルト池袋」をリニューアルオープンする等、グループ内の資産を有効に活用しながら積極的な店舗投資を行ってまいりました。これらは全て各ブランドの最新CIに準拠する店舗となっており、最新の店舗での商談や試乗という特別感のある体験を提供することによって、お客様満足度の向上を図っております。

車輻販売につきましては、世界的な感染症拡大により新車の供給時期の遅れの影響があったものの、店舗投資効果に加え、ジャガー・ランドローバーブランドやボルシェブランドのニューモデルの販売が堅調に推移し、新車売上高は前期比15.3%増の20,477百万円となりました。また、安全な移動手段としての自動車への関心の高まりや、新車の供給時期が不安定だったこと等により、中古車売上高は前期比30.0%増の10,238百万円となり、車輻売上全体に占める割合も2.6ポイント増加いたしました。

この結果、車輻売上高は前期比18.6%増の34,378百万円となり、店舗数や車輻売上高の増加に伴い、ストック型ビジネスである車輻整備や保険手数料収入も前期比増となり、連結売上高は前期比16.3%増加の40,776百万円と過去最高となりました。

原価率の低い中古車売上の割合が増加したことや、利益率改善を図る取組みを継続したこと等により、売上総利益率は0.7ポイントアップの20.2%となり、売上総利益は前期比20.8%増加の8,255百万円となりました。

販売費及び一般管理費は前期比5.1%増加の5,965百万円となりました。店舗及び人員数増加に伴う人件費や地代家賃が前期比増となったほか、店舗出店や改装に伴う費用が発生したことが、主な増加要因であります。一方で、新型コロナウイルス感染防止のため、会議や社内外の研修は大半をWeb上で実施したこと等により研修費や旅費交通費が減少したことに加え、従来の業務の見直しと書類の電子化等の業務の効率化を図り、無駄の削減に取り組んだ結果、販管比率は前期比1.6ポイント減少の14.6%となっております。

この結果、営業利益は前期比97.3%増加の2,290百万円、経常利益は92.3%増加の2,301百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比91.1%増加の1,533百万円となり、利益面でも過去最高となりました。

当社グループは輸入車販売関連事業の単一セグメントであります。商品品目別の販売実績は以下のとおりとなります。

商品の名称	販売高 (百万円)	前期比 (%)
新車	20,477	115.3
中古車	10,238	130.0
業販	3,662	109.5
車輻小計	34,378	118.6
車輻整備	4,709	106.4
その他	1,688	101.4
合計	40,776	116.3

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況は、以下のとおりであります。

(資産)

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、326百万円増加し、16,972百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ、219百万円増加し、9,488百万円となりました。これは、新車供給が不安定なことや、中古車市場の活況により商品が760百万円減少した一方で、業容の拡大に伴い、原材料及び貯蔵品、仕掛品等が増加、現金及び預金が854百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ107百万円増加し、7,483百万円となりました。これは主に新規出店や移転改装に伴う店舗設備の取得により有形固定資産が191百万円増加した一方で、償却によりのれんが73百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ750百万円減少し、8,510百万円となりました。これは主に、お客様からの受注が増加していることに伴い前受金が546百万円増加、業容の拡大により未払法人税等、未払消費税等がそれぞれ355百万円、158百万円増加した一方で、資金の回転率を改善する取組みにより買掛金が1,122百万円減少、短期借入金及び1年内返済予定長期借入金が700百万円、103百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ330百万円減少し、930百万円となりました。これは、店舗設備等の取得に伴う資産除去債務が78百万円増加、目標に対する営業利益の達成度が高かったことにより役員株式給付引当金が21百万円増加した一方で、約定返済により長期借入金が428百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ、1,407百万円増加し、7,530百万円となりました。これは、新株予約権の権利行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ4百万円増加したこと、また、配当金支払が133百万円あったものの、親会社株主に帰属する当期純利益が1,533百万円あったこと等により利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より854百万円（前期比33.9%）増加し、3,376百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は、2,890百万円（前連結会計年度は1,717百万円の獲得）となりました。これは、税引等調整前当期純利益が2,313百万円、減価償却費が1,100百万円、たな卸資産の減少が176百万円、前受金の増加が546百万円、のれんの償却額が73百万円の資金増加要因があった一方で、仕入債務の減少が1,121百万円、法人税等の支払額が385百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、676百万円（前連結会計年度は1,201百万円の使用）となりました。これは主に、移転やCI変更による店舗改装に伴う固定資産の取得による支出が708百万円、店舗移転等による敷金及び保証金の支出が41百万円あった一方で、M&Aで事業継承した際に取得した土地を売却したことによる収入が83百万円あったこと等によります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1,359百万円（前連結会計年度は594百万円の獲得）となりました。これは主に、短期借入金の返済が700百万円、長期借入金の返済が531百万円、配当金の支払額が133百万円あったこと等によるものであります。

(4) 今後の見通し

ワクチン接種により新型コロナウイルス感染症の収束への期待が高まる一方で、変異株の発生により再び感染拡大の兆しが見られるなど未だ先行きが不透明な状況が続いております。

自動車業界におきましては、世界規模での脱炭素化社会へのシフトによるEV化や「CASE」と呼ばれる技術革新が急速に進んでおり、当社を取巻く事業環境は大きな変革期にあります。

このような経営環境の下、当社が継続して成長し、企業価値を高めるための次期の取組み及び見通しは以下のとおりであります。

車輛販売につきましては、前連結会計年度に新規出店した店舗が売上高に寄与する見込みであり、また既存店における成約も順調に推移する見込みではありますが、半導体不足等の要因により新車供給が不安定な状況が続くと想定しております。これにより下取り車の確保も不安定となることが懸念され、また、中古車市場の活況により商品調達に多少の影響が出ると見込んでおります。このため、中古車売上高の全体に占める割合は前連結会計年度よりやや減少する見込みとしております。

ストック型ビジネスである車輛整備や損害保険代理店事業につきましては、継続してお取引いただけるお客様を更に拡大するために、一人ひとりのお客様との繋がりを強化するよう努めてまいります。

前連結会計年度に新規出店した店舗に係る費用が通年で発生いたしますが、引き続き無駄の削減を図るとともに、IT化を促進し、各部門における業務の更なる効率化を図ってまいります。これらの結果、売上高は41,067百万円、営業利益は2,149百万円(前期比6.1%減)、経常利益2,132百万円(前期比7.4%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は1,386百万円(前期比9.6%減)となる見込みであります。

なお、上記の数値につきましては、翌連結会計年度の期首より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用し、当該基準等に基づいた予想となっております。売上高の前期比は記載しておりません。営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、基準適用前後での影響はございません。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの業務は現在日本国内に限定されており、海外での活動がないことから、当面は日本基準を採用することとしております。IFRS(国際財務報告基準)の適用については、外国人株主比率の推移や国内の動向等を注視し、適用について検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当連結会計年度 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,522,127	3,376,534
売掛金	177,900	210,105
商品	5,492,447	4,731,647
仕掛品	134,001	144,483
原材料及び貯蔵品	227,087	265,855
未収入金	470,162	526,108
その他	245,480	233,678
流動資産合計	9,269,207	9,488,412
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,085,020	4,709,178
減価償却累計額	△771,827	△949,327
建物及び構築物（純額）	3,313,193	3,759,851
機械装置及び運搬具	2,264,464	2,054,491
減価償却累計額	△420,943	△425,658
機械装置及び運搬具（純額）	1,843,521	1,628,832
工具、器具及び備品	499,321	638,588
減価償却累計額	△261,967	△339,361
工具、器具及び備品（純額）	237,354	299,227
土地	720,069	649,839
その他	7,222	23,216
減価償却累計額	△5,216	△7,532
その他（純額）	2,006	15,684
建設仮勘定	81,489	35,901
有形固定資産合計	6,197,634	6,389,336
無形固定資産		
のれん	304,505	230,946
その他	38,166	28,787
無形固定資産合計	342,671	259,733
投資その他の資産		
敷金及び保証金	446,713	478,455
繰延税金資産	307,335	269,199
その他	81,759	87,145
投資その他の資産合計	835,808	834,800
固定資産合計	7,376,115	7,483,870
資産合計	16,645,323	16,972,283

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当連結会計年度 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,081,688	1,958,884
短期借入金	3,700,000	3,000,000
1年内返済予定の長期借入金	531,380	428,103
未払金	393,978	466,993
未払法人税等	205,804	561,539
未払消費税等	205,595	363,956
前受金	947,134	1,493,924
賞与引当金	41,848	48,037
資産除去債務	165	—
その他	153,524	188,939
流動負債合計	9,261,118	8,510,377
固定負債		
長期借入金	894,831	466,728
役員株式給付引当金	35,861	56,873
資産除去債務	295,244	373,364
その他	35,220	33,981
固定負債合計	1,261,157	930,947
負債合計	10,522,275	9,441,325
純資産の部		
株主資本		
資本金	218,000	222,228
資本剰余金	1,151,538	1,155,766
利益剰余金	4,887,433	6,286,967
自己株式	△133,925	△134,003
株主資本合計	6,123,047	7,530,958
純資産合計	6,123,047	7,530,958
負債純資産合計	16,645,323	16,972,283

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
売上高	35,068,288	40,776,283
売上原価	28,232,291	32,520,971
売上総利益	6,835,997	8,255,311
販売費及び一般管理費	5,675,231	5,965,162
営業利益	1,160,765	2,290,149
営業外収益		
受取報奨金	—	4,579
受取利息	884	1,178
受取保険金	5,068	3,467
受取支援金収入	43,436	11,921
助成金収入	—	3,831
その他	5,234	1,289
営業外収益合計	54,623	26,269
営業外費用		
支払利息	18,018	12,372
その他	690	2,491
営業外費用合計	18,708	14,864
経常利益	1,196,679	2,301,554
特別利益		
固定資産売却益	17,093	13,010
特別利益合計	17,093	13,010
特別損失		
固定資産除却損	6,543	1,345
減損損失	788	—
特別損失合計	7,331	1,345
税金等調整前当期純利益	1,206,441	2,313,218
法人税、住民税及び事業税	400,969	741,712
法人税等調整額	3,200	38,136
法人税等合計	404,170	779,848
当期純利益	802,271	1,533,369
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	802,271	1,533,369

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
当期純利益	802,271	1,533,369
その他の包括利益		
包括利益	802,271	1,533,369
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	802,271	1,533,369
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

(単位：千円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	203,319	1,136,857	4,215,168	△133,877	5,421,467	5,421,467
当期変動額						
新株の発行	14,681	14,681			29,362	29,362
親会社株主に帰属する当期純利益			802,271		802,271	802,271
剰余金の配当			△130,006		△130,006	△130,006
自己株式の取得				△47	△47	△47
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						—
当期変動額合計	14,681	14,681	672,264	△47	701,579	701,579
当期末残高	218,000	1,151,538	4,887,433	△133,925	6,123,047	6,123,047

当連結会計年度(自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)

(単位：千円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	218,000	1,151,538	4,887,433	△133,925	6,123,047	6,123,047
当期変動額						
新株の発行	4,227	4,227			8,454	8,454
親会社株主に帰属する当期純利益			1,533,369		1,533,369	1,533,369
剰余金の配当			△133,835		△133,835	△133,835
自己株式の取得				△77	△77	△77
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						—
当期変動額合計	4,227	4,227	1,399,533	△77	1,407,910	1,407,910
当期末残高	222,228	1,155,766	6,286,967	△134,003	7,530,958	7,530,958

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,206,441	2,313,218
減価償却費	1,073,425	1,100,150
減損損失	788	—
のれん償却額	73,559	73,559
賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,672	6,189
受取利息及び受取配当金	△884	△1,178
支払利息	18,018	12,372
助成金収入	—	△3,831
有形固定資産売却損益(△は益)	△17,093	△13,010
有形固定資産除却損	6,543	1,345
売上債権の増減額(△は増加)	144,780	△80,691
たな卸資産の増減額(△は増加)	△952,786	176,183
仕入債務の増減額(△は減少)	570,032	△1,121,988
前受金の増減額(△は減少)	△119,701	546,790
その他	154,761	254,930
小計	2,153,213	3,264,039
利息及び配当金の受取額	884	1,178
利息の支払額	△18,164	△12,181
法人税等の支払額	△418,676	△385,724
法人税等の還付額	—	19,403
助成金の受取額	—	3,831
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,717,255	2,890,547
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,136,694	△708,346
有形固定資産の売却による収入	17,093	83,472
無形固定資産の取得による支出	△8,970	△6,690
敷金及び保証金の回収による収入	12,418	3,160
敷金及び保証金の差入による支出	△76,489	△41,185
その他	△9,304	△6,575
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,201,947	△676,164
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,300,000	△700,000
長期借入金の返済による支出	△603,579	△531,380
リース債務の返済による支出	△1,360	△3,220
新株予約権の行使による株式の発行による収入	29,362	8,454
自己株式の取得による支出	△47	△77
配当金の支払額	△130,044	△133,754
財務活動によるキャッシュ・フロー	594,330	△1,359,977
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,109,639	854,406
現金及び現金同等物の期首残高	1,412,488	2,522,127
現金及び現金同等物の期末残高	2,522,127	3,376,534

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社グループは、輸入車販売関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
1株当たり純資産額	645.24円	791.47円
1株当たり当期純利益金額	85.32円	161.47円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額	83.19円	158.32円

- (注) 1. 株主資本において自己株式として計上されている信託に残存する自社の株式は、1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めており、また1株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております。1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は、前連結会計年度70,200株、当連結会計年度は70,200株であります。1株当たり純資産額の算定上、控除した自己株式は前連結会計年度70,200株、当連結会計年度末株式数は70,200株であります。
2. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	802,271	1,533,369
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	802,271	1,533,369
普通株式の期中平均株式数(株)	9,402,570	9,496,046
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	241,372	188,969
(うち新株予約権(株))	(241,372)	(188,969)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—	—